

小野寺勢と折越矢澤仁質保前田但馬守本
豊清を攻候時城を望み小將家盛公後信之
て別後殿即ち来玉光の所腰北物をとりさへ
ある時小野寺勢新谷北江押寄る時味方より
そそりて勝子久盛公二年ハ本堂源七郎爲野紀
伊守丸山善四郎尾崎平治六郷兵庫亦一手ハ
小笠原氏三郎隠明寺佐渡守を大將として沼
館に向ふ八柳右馬介傳、式部進藤筑前守又
久盛公北御年十八歳恭盛公の旗預小入江九郎
右衛門より老功の武士あり度々功名あり細田左馬

外豊清三平長谷川助作は時前後大軍と合戦
歟大勢を取は時小野寺の大將征通病死子息孫
十郎實道といふ小野寺尾張中田近江小野丸馬
外御神子内膳退散加勢の族小仁質保折越矢
澤由利の輩を初前田但馬守久盛公角館江所
居りて相候者共永山長八戸久彦九郎蒔造酒
之元田口平之郎堺田三右衛門戸次長藏中銀大膳
八柳右馬介其外兵士三十六人雜兵千八百余人
を信成、金家盛公門下小野寺比領地なる寺を
攻取むは節本堂小野寺比領地なる寺